平成29年度石川県原子力防災訓練におけるアンケート調査結果(避難者)

1 回収率

(単位:人)

								,	<u> </u>
			志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	参考 (前年)
	配	布	219	202	196	75	12	704	552
	回	収	186	190	186	68	12	642	495
回収率(%)		84. 9%	94. 1%	94. 9%	90. 7%	100. 0%	91. 2%	89. 7%	

※回答者 642人の内訳

性別 男: 544人 (84.7%) 年齢別 60歳以上 : 473人 (73.7%)

女: 98人 (15.3%) 40歳以上~60歳未満 : 139人 (21.7%)

20歳以上~40歳未満 : 29人 (4.5%) 20歳未満 : 1人 (0.2%)

2 アンケート集計結果

(1)原子力防災訓練への参加回数は。

(単位:人)

	志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	比率 (%)	参考 (前年%)
今回が初めて	130	149	157	37	7	480	74. 9%	77. 0%
何度か経験した	55	41	29	31	5	161	25. 1%	23. 0%
(回答なし)	1	0	0	0	0	1	_	-
合計	186	190	186	68	12	642	100. 0%	100. 0%

(2) 今回の避難訓練での集合場所における市町職員等の対応はどうでしたか。

(単位:人)

								<u> </u>
	志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	比率 (%)	参考 (前年%)
良く対応していて 問題ない	83	93	84	33	1	294	45. 9%	43. 4%
おおむね満足して いる	67	74	72	23	4	240	37. 4%	37. 3%
良くも悪くもない	33	23	27	11	7	101	15. 8%	17. 3%
やや不満がある	3	0	3	0	0	6	0. 9%	1.8%
大いに不満がある	0	0	0	0	0	0	0.0%	0. 2%
(回答なし)	0	0	0	1	0	1		_
合計	186	190	186	68	12	642	100. 0%	100. 0%

(3) 今回、県が定めた避難計画要綱に基づいた避難先への避難訓練を実施しました。 避難の経路や避難時間などについてはどのように感じましたか

	志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	比率 (%)	参考 (前年%)
特に問題はなかった	85	124	105	39	6	359	56. 6%	46. 8%
多少時間がかかった がやむを得ない	77	57	64	21	3	222	35. 0%	48. 1%
問題があった	23	7	15	5	3	53	8. 4%	5. 0%
(回答なし)	1	2	2	3	0	8	-	-
合計	186	190	186	68	12	642	100. 0%	100. 0%

(4) 避難の車内で、市町職員か発電所の事故について状況の説明を行っていますが、 情報の伝達についてはどのように感じられましたか。

	志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	比率 (%)	参考 (前年%)
情報はうまく伝達 されていた	114	153	167	44	0	478	94. 8%	92. 3%
情報伝達はうまく できていなかった	2	11	6	7	0	26	5. 2%	7. 7%
(回答なし)	70	26	13	17	12	138	-	_
合計	186	190	186	68	12	642	100. 0%	100. 0%

(5) 今回の避難訓練における職員の対応や訓練内容についてはどう感じましたか。

	志賀町	羽咋市	宝達志水町	七尾市	かほく市	合計	比率 (%)	参考 (前年%)
良く対応していて 問題ない	59	87	77	18	3	244	43. 5%	42. 8%
おおむね満足して いる	56	72	72	28	4	232	41.4%	37. 9%
良くも悪くもない	21	16	29	8	4	78	13. 9%	17. 3%
やや不満がある	2	2	0	0	1	5	0. 9%	1.8%
大いに不満がある	1	0	0	1	0	2	0. 4%	0. 2%
(回答なし)	47	13	8	13	0	81		_
合計	186	190	186	68	12	642	100.0%	100. 0%

- 3 アンケート結果に対する参加機関の主な対応
- ・避難時のバス経路について、住民の不安を取り除けるような経路を検討する。
- ・避難時のバス内での原発事故の状況説明不足について、同行職員から住民への十分な状況説明 となるよう配慮する。
- ・今後も、国や県などの関係機関の協力のもと、住民に対する日頃からの原子力防災の啓発に努める。